

西小トピックス



発行
1月29日(月)
海田西小学校
校長 坂田 康子

租税教室

一月二十九日(月)四校時、六年生が「租税教室」を受けました。当日は、広島県西部県税事務所から講師の方が、三名、来ていただきました。

『税金』は知っているけれど、どんなところにどのように使われているのか、くわしいことまでは知らなかったの
で、みんな興味深く話を聞いていました。

まずはじめに、近くにある施設の写真を見て、税金が使われているかどうかを考えました。「学校・公民館・ひまわりプラザなどは税金が使われている」とすぐ答えられました。商業施設などは「うくん、みんなの役にたっているけど税金かなあ？」とちよつと迷いました。

6年 社会科



次に、税金をなくしたらどんな世の中になるかということをアニメで分かりやすくしたDVDを視聴しました。「火事が起こったら火事を出した人が消火費用を払う」「警察に窃盗犯を捕まえてほしいと言ったら、依頼した人が費用を払う」「公園は壊されて宅地になる」「信号機が故障してもそのままで大渋滞」・・・と税金がなくなると大変なことになると、分かりました。

それから、税金の種類や消費税のしくみなども教えてもらいました。「海田西小学校に通った六年間で二十三人が使った税金は、約一億円!」と聞いてびっくりしました。一億円分を持ってみるとずっしり重かったです。

税金についてよく分かり、公共のものを大切にしていきたいと思いました。

**海田西小学校6年生23人が
6年間で使った税金は
約1億2282万円!
(一人約534万円!)**



これが一億円です

